



生物多様性 ところざわ 戦略

所沢市 2021年4月

「生物多様性ところざわ戦略」の策定にあたって



まちの喧騒から少し離れた、狭山丘陵や武蔵野台地の樹林を訪れると、そこにはたくさんの動物や植物の息づく豊かな自然が広がっています。そして、人のにぎわうまちのなかでも、小鳥のさえずりや虫の音が聞こえます。公園や街路樹、庭のみどりをつたい、私たちの生活のすぐそばにも生きものが暮らしています。これが所沢らしさです。身近に自然を感じられる、素晴らしい環境です。

せわしい日々のなかで忘れてしまいがちですが、私たちはそうした生きものから、さまざまな恵みももらって生きています。新鮮な空気や食べ物、みどり豊かな風景はもちろんのこと、薬の原料や製品のアイデアのもとにもなっています。これらの恵みは、生きもの以外からは、得ることができません。

そう、私たちの生活は生きものたちと共にあるのです。ところが、残念なことに人々の営みが原因となって、生きものたちは地球全体で急速に数を減らしています。それでも、本市では早くからたくさんの方々のおかげによって、みどりが保全され、生きものを育む取り組みがなされてきました。そして、今の環境につながっています。

本戦略は2050年の将来を見すえ、恵みのみなもとになる多種多様な生きものがにぎわう環境を、取り組みのすそ野を広げてみんなでつくりあげていくための計画です。あわせて、市では2050年に二酸化炭素排出量実質ゼロも目指します。人と同じく生きものにとっても気候変動の安定は大切です。これらはSDGsの達成にもつながるもので、市民をはじめ、関係団体、企業のみなさまの参加が欠かせません。市も一丸となり取り組んでいきます。そして、今以上にホタルが輝き、オオムラサキが舞い、カブトムシやクワガタムシがひしめき、さらにはミヤコタナゴが川に戻っている、そんな子どもたちが心をおどらせ、人々と生きものが共に生きる善きふるさtoを目指しましょう。

結びに、本計画の策定にあたり多大なるご尽力をいただきました「所沢市みどりの審議会」の委員のみなさまをはじめ、さまざまな機会を通じてご協力をいただきました、市民、関係団体、企業のみなさまに心から感謝と御礼を申し上げます。

2021年4月

所沢市長 藤本正人

目次

第1章 はじめに	1
1. 生物多様性ところざわ戦略を策定する理由	1
2. 戦略の位置づけ	6
(1) 対象区域	6
(2) 目標年次	6
(3) 本戦略の位置づけ	6
第2章 生物多様性に関する現状と課題	8
1. 自然の状況	8
(1) 基盤となる自然の状況	8
(2) 生物多様性の現状	11
(3) 生物生息空間	21
(4) エコロジカルネットワーク	33
2. 社会の状況	54
(1) まちの発展と自然の移り変わり	54
(2) 生物生息空間の保全・再生・創出の取り組み	58
(3) 観光と生物多様性	60
(4) 子どもと生物多様性	64
(5) 農業と生物多様性	66
(6) 安全な暮らしと生物多様性	68
(7) 生物多様性についての市民意識	69
3. 課題	77
第3章 将来像と目標	78
1. 将来像	78
2. 目標	82
第4章 実施方策	84
1. 施策の体系	84
2. 施策内容	86
目標1 「生物生息空間」を守り、創り、つなぎ、エコロジカルネットワークをつくります	86
1-1. 「生物生息空間」を守り、つなぐ	86
1-2. 「生物生息空間」を創り、つなぐ	89
1-3. エコロジカルネットワークの取り組みを進める	96
1-4. 野生生物を保護、管理する	99

目標2 身近な自然や生きものへの「親しみ」と「関心」を高めます	106
2-1. 自然や生きものが好きな子どもを増やす	106
2-2. 自然や生きものに関心を持つ市民を増やす	110
目標3 「生きもののにぎわい」を守るために行動する人や団体等を増やします	112
3-1. 市の事業や団体等の活動に生物多様性を反映する	112
3-2. 団体等の活動を支援する	113
3-3. 生物多様性に配慮した暮らしを啓発する	114
3-4. 産業における生物多様性への配慮を推進する	117
目標4 「自然の恵み」を所沢市の魅力アップにつなげます	121
4-1. 自然で地域の活力を高める	121
4-2. 安全、安心、快適なまちづくりにつなげる	124
4-3. 所沢に暮らす誇りと喜びを高める	126

第5章 モデルプロジェクト 128

1. 「生物生息空間」の保全・再生・創出プロジェクト	128
2. 庭やベランダに生きものを呼ぼう！プロジェクト	129
3. 武蔵野の生きもの復活プロジェクト	130
(1) 武蔵野の雑木林の生きもの復活プロジェクト	131
(2) 武蔵野の草原の生きもの復活プロジェクト	132
(3) 武蔵野の清流とミヤコタナゴの野生復帰プロジェクト	133
4. 所沢エコツアープロジェクト	134
5. 生きもの大好きプロジェクト	135

第6章 戦略の推進 136

1. 推進体制	136
2. 各主体に期待される役割	137
3. 推進管理	138
(1) 数値目標	138
(2) PDCAサイクルによる推進管理	139

資料編	140
1. 生物多様性に関する世界や日本の動き	140
(1) 国際的な動き	140
(2) 国内の動き	142
2. エコロジカルネットワークのイメージ	147
(1) エコロジカルネットワークの概念	147
(2) 樹林・草地・水辺ごとのエコロジカルネットワークのイメージ	147
3. 用語説明	154
4. 「生物多様性ところざわ戦略」策定の経緯	164
5. 所沢市みどりの審議会委員名簿	165
6. 諮問書・答申書	166
7. 使用データなど	168
エコロジカルネットワーク形成の手引き	169

用語説明に記載をしている単語について

用語説明 (154 ページ～ 163 ページ) に記載をしている単語には、右肩に*マークを付けています。
同一ページに複数の同じ単語がある場合には、1か所のみ記載しています。